

5- 1

ええやん そのままで

著者名 トッド・パール 「ええやんそのままで」「あんたはあんた」と、いろんな場面でリズミカルに語りかける。「歯が抜けても平気」だし、「長い鼻も短い鼻も大切な鼻」で「体の色もいろいろ」「髪の毛がなくてもお洒落する」
出版社 エルくらぶ 多様な“わたし”を楽しみながら受け入れられるようになり、多様な他者も認められるようになる。
登録月日 H23.6
登録番号 1313

5- 2

下に見る人

著者名 酒井 順子 あの人に比べれば自分はまだまし。
なぜ人は人を下に見る！？人が集えば必ず生まれる序列に区別、そして差別。自らの”人を下に見てしまう”感覚を吐露し、人間の心の闇に鋭く迫る。
出版社 角川書店 なかなか書けないホンネを余すところなく露わにする異色のエッセイ！
登録月日 H25.2
登録番号 1353

5- 3

職場でできるパワハラ解決法

著者名 金子雅臣 「職場のいじめ・いやがらせ」に関する労働相談は増
の一途をたどっている。第一人者である著者が実践的解決法を指南する。
出版社 日本評論社
登録月日 H25.2
登録番号 1354

5- 4

部長、その恋愛はセクハラです

著者名 牟田和恵 現実に生じるセクハラは、お役所や会社、大学が発行
している防止パンフレットや各種マニュアルの事例とはだいぶ違うものである。結局、この問題の難しさは、ほとんどのセクハラが、グレーゾーンで生み出される点にこそあるのだ。
出版社 集英社 なぜ女性ははっきりとノーと言わないのか、男性はなぜ気づかないの・・・。
登録月日 H26.2
登録番号 1377

5- 5

それ、パワハラです 何がアウトで、何がセーフか

著者名 篠山尚人

何がアウトで、何がセーフか

出版社 光文社

労働局に「職場のいじめ・いやがらせ」と分類される問題の相談件数は、約4万6千件。社会で急増する「パワハラ問題」への対策は、現在、日本社会で喫緊の課題となっている。数多くの労働事件に携わってきた弁護士が、豊富な実例に基づき、その実態、法的な視点、具体的な対策などに触れ、今後の社会の在り方を考える。

登録月日 H26.2

登録番号 1378

5- 6

パワハラ防止のためのアンガーマネジメント入門

著者名 小林浩志

寄贈上司の理不尽な怒りで職場が萎縮する。怒りをコントロールすることでパワハラを防止し働きやすく成果の上がる職場にする方法を説く。

出版社 東洋経済新報社

登録月日 H28.3

登録番号 1465

5- 7

ここからセクハラ

著者名 牟田和恵

もう我慢しない女

世界的なうねりを見せる#MeToo運動などにより、セクハラ問題への関心が一層高まる昨今。国内では財務省の事件をはじめ、次々に起こるセクハラ事件で、加害者サイドの関係者たちの無理解が露呈された。

出版社 1552

登録月日 H31.2

また、被害者側から声を上げにくい状況もいまだに続いている。ロングセラー『部長、その恋愛はセクハラです!』の著者が、セクハラの明確な線引きの認識を促す指南書。

登録番号 集英社

5- 8

ハラスメントゲーム

著者名 井上由美子

大手スーパーを舞台に、コンプライアンス室長に任命

された主人公が、部下とともにセクハラ、パワハラな等々さまざまな難題に立ち向かう痛快エンタメ企業小説。今話題のコンプライアンス室を舞台に、さまざまなハラスメント問題と会社の間を描く、スリリングなエンタメ企業小説。

出版社 H31.3

登録月日 1559

登録番号 河出書房新社

5- 9

さようなら！ハラスメント

著者名 小島慶子 財務省官僚トップによるセクハラ問題、医学部不正入
試問題、スポーツ界を揺るがす数々のパワハラ、アイドルに対する人権無視…。
出版社 晶文社 問題は至るところに噴出し、平成の終わり、私たちはやっと目覚めようとしている。 そもそも
登録月日 R1.8 もハラスメントとはどういうことなのか？なぜハラスメントが起きるのか？
登録番号 1565

5- 10

性の多様性を考える

著者名 北海道環境生活部 性（セクシュアリティ）は多様です。
そして、個人の尊厳にかかわる大切な問題です。
出版社 暮らし安全局道 どの性別の人を好きになるのかは、人それぞれ違います。自分の性別をどのように認識するか
民生活課 は、人それぞれ違います。
登録月日 R1.8
登録番号 1566

5- 11

日本と世界のLGBTの現状と課題

著者名 LGBT法連合会 LGBTなどの用語は、レズビアン、ゲイなど「人」のカテゴリーを表す語であるのに対し、SO
とGIは、すべての人の持つ属性です。どういう性別を性愛対象とするかしないかを「性的指
出版社 かもがわ出版 向」、自分をどういう性別と認識するかしないかを「性自認」といいます。
性的指向・性自認＝SOGI（「ソジ」または「ソギ」）をどう考えるか。LGBTの現状をSOGI
登録月日 R2.3 で検討。
登録番号 1577 欧米などの関連法制定の動向を各国の大使館代表が、日本の大学の取り組みを学長などが語
り、日本に求められる立法、その他の課題を提示。

5- 12

はじめよう！SOGIハラのない学校・職場づくり

著者名 「なくそう！SOGIハ 「それってSOGIハラ！？」
ラ」実行委員会 「ホモネタ」やアウトティング（暴露）、男女別制服の強要など、性的指向や性自認（SOGI）に
出版社 大槻書店 かわるハラスメントは深刻な人権侵害となります。
基本的なとらえ方から、事例も多数紹介した初の入門書！
登録月日 R2.3 性的指向や性自認（SOGI）に関するハラスメントはLGBTQ等への深刻な人権侵害に。基本的
登録番号 1578 なとらえ方から事例も多数紹介。

5- 13

ぼくは性別モラトリアム

著者名 からたちはじめ **知ってはいても”わかって”いない、セクシュアリティについて学べる一冊**

出版社 幻冬舎 日本には左利きやAB型と同じぐらい、LGBTがいる。世の中は男と女の二択そもそもじぶん
性があることがイヤな人もいる・・・。

登録月日 R3.3 女ではない、でも
男になりたいわけでもない

登録番号 1590

5- 14

男の子になりたかった女の子になりたかった女の子

著者名 松田青子 **”あなたを救う非常口はここ”**

出版社 中央公論新社 ジェンダー・バイアスを巡る違和感・・・
性的に登場し、性的に話し、性的に動き、性的に扱われることへの抗議を、あるときはユーモアを交えて、他方では容赦ない真っすぐな言葉で描き出す。

登録月日 R3.8

登録番号 1593

5- 15

「男らしさ」はつらいよ

著者名 ロバート・ウェブ **まずは、鏡に映る男から変えないか。**

出版社 双葉社 男性中心社会を強固に形づくる「男らしさ」の呪縛について著者の個人史から考察する、愛と迷いのジェンダー・エッセイ。英国の人気コメディアン/文筆家、ロバート・ウェブの半生記を邦訳。

登録月日 R3.8 自ら内面化してしまう規範に苦しんでいるのは君だけじゃない。いっしょに少しずつ変わって
いこう。

登録番号 1594

5- 16

ジェンダーで見るヒットドラマ

著者名 治部れんげ **ジェンダー視点でドラマを見ると社会がクリアに見えてくる。**

出版社 光文社 エンタメ性の高い連続ドラマには、必ずその国の世相が反映される。今やビジネスにも家庭円満にも欠かせなくなった「ジェンダー視点」でドラマを見れば、世界の今も見えてくる。

登録月日 R4.1

登録番号 1597

5- 17

ジェンダーで読み解く男性の働き方・暮らし方

著者名 多賀 太 ジェンダー格差大国ニッポン 妻の「イライラ」夫の「モヤモヤ」

出版社 時事通信出版局 なかなか進まない男性の育児・家事参加男性稼ぎ手社会を壊すことが男性の生きづらさを解消するジェンダー平等に向けた本気の働き方・暮らし方改革を！

登録月日 R4.7

登録番号 1603

5- 18

失敗しないためのジェンダー表現ガイドブック

著者名 新聞労連ジェンダー表現ガイドブック編集チーム 悪気はなかったではすまされない時代です。

出版社 小学館 現役新聞記者たちが自省の念を込めて贈る「気づきの書」。「美しすぎる〇〇」がダメな理由がわからない。女医、女子アナと無意識に言ってしまう。「女性ならではの気配り」はほめ言葉のつもりだった？ 無意識の偏見と男尊女卑、性別役割分業のすりこみなどジェンダーの視点で改めて見直すとたくさん問題点がみえてくる。

登録月日 R4.7

登録番号 1604

5- 19

多様性って何ですか？

著者名 羽生祥子 多様性の中でも日本が不得意なのが、ジェンダー平等。国籍や宗教、LGBTQなど、属性の多様性を組織内で高めようという声には、さほど異論反論は出ません。ですが、「男女平等」の話となると、総論賛成、各論反対、あれこれ理屈が拳がり、いつのまにか「女性だけ特別扱いしない」という結論に…。こんな二の足、三の足を踏み続けて早20年のニッポン。世界と比べてこんなに遅れている。

出版社 日経BP

登録月日 R4.7

登録番号 1605

5- 20

だからお前はダメなんだ

著者名 さわぐちけいすけ 頑張るあなたの背中を押すオムニバスストーリー。

出版社 ライツ社 キュートで毒舌な悪魔が人間界に旋風を巻き起こす！うまくいかない毎日に悩む主人公のもとに、ネガティブな感情が大好物な悪魔「佐田沼さん」がやってきた！佐田沼さんは得意の毒舌を駆使して主人公たちを翻弄するが…。悪魔のささやきは人間たちを地獄へ誘うのか？それともー？

登録月日 R5.3

登録番号 1614

マイノリティだと思っていたらマジョリティだった件

著者名 松井彰彦・塔島 ひろみ 社会の不平等や偏見、家族のトラブルや無理解などに悩み、抗い、時にやりすごして今、それぞれ何を思うのか。本書に登場するのは、いわゆる〈マジョリティ〉や〈フツウ〉からはみ出しているとされる人たちです。世間からは異なる者、弱者とされ、差別されたり、排除されたりしがちな彼らですが、かわいそうな境遇のかわいそうな話を伝えたいわけでも、感動してもらいたいわけでもありません。

出版社 ヘウレーカ

登録月日 R5.3

登録番号 1617